

# 全国協議会 ニュース

2009年11月1日発行 第209号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:中野勝博  
http://www.marow.or.jp/ E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754  
銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

## 骨髄バンク推進月間特集

### トークに、ライブに、ダンスで 骨髄バンクを熱烈アピール

10月3日、お台場ヴィーナズフォートにおいて、東京21世紀ライオンズクラブ主催「骨髄バンク推進イベント 2009ライオンズデー」が開催されました。



ドナー登録をしているダンサーも

主会場となった教会広場では、サッカード解説者の宮澤ミシェルさんと東京の会の大橋一三さんが、ドナーの立場からドナー登録の大切さを伝えるトークショーに始まり、大谷会長と難病を乗り越え骨髄移植を受けて元気になられたスノーボーダーの荒井daze善正さんが、楽しいトークと荒井さんの雪山を軽快に滑る映像を交えて、患者の立場から骨髄移植でこんなに元気になれるんだということをお話してくださいました。



大谷会長と荒井さんの軽妙なトーク

### 移植医療への理解を求め 青空の下 国立競技場を激走!

今年も2009グリーンリボンランニングフェスティバル(主催:東京中日スポーツ他)からお声をかけていただき、全国協議会からは駅伝の部に2チーム、10キロの部に1名が参加すると共に、ブースを構えて啓発活動を行いました。当日の様子を参加者から伝えていただきます。

10月4日、グリーンリボンランニングフェスティバルの駅伝の部に参加して参りました。日頃から隣のスパーまで行くのにも車を使うほど運動不足の私。1キロといえども体力に自信が無く、不安を抱えての参加でしたが、会場の国立競技場に到着して正面入り口か

10月4日、グリーンリボンランニングフェスティバルの駅伝の部に参加して参りました。日頃から隣のスパーまで行くのにも車を使うほど運動不足の私。1キロといえども体力に自信が無く、不安を抱えての参加でしたが、会場の国立競技場に到着して正面入り口か

10月4日、グリーンリボンランニングフェスティバルの駅伝の部に参加して参りました。日頃から隣のスパーまで行くのにも車を使うほど運動不足の私。1キロといえども体力に自信が無く、不安を抱えての参加でしたが、会場の国立競技場に到着して正面入り口か



10月4日、グリーンリボンランニングフェスティバルの駅伝の部に参加して参りました。日頃から隣のスパーまで行くのにも車を使うほど運動不足の私。1キロといえども体力に自信が無く、不安を抱えての参加でしたが、会場の国立競技場に到着して正面入り口か



10月4日、グリーンリボンランニングフェスティバルの駅伝の部に参加して参りました。日頃から隣のスパーまで行くのにも車を使うほど運動不足の私。1キロといえども体力に自信が無く、不安を抱えての参加でしたが、会場の国立競技場に到着して正面入り口か



のぼりを持ってゴールイン!

### 各地域の活動から

#### 新潟 社員ご家族の方と共に 心に残るボランティア

10月4日、ブルデンシヤル生命保険(株)新潟支社で、講演会、バンド演奏、ドナー登録説明会を行ない、その後、街頭に出て募金活動、普及啓発活動、アンケート用紙による骨髄バンク意識調査を行ないました。

#### 富山 映画「私の中のあなた」 試写会とパネル展

去る10月6日、T.O.H.O.シネマズファアボレ富山にて、映画「私の中のあなた」の試写会が行われました。主催者であるチューリップテレビからの要請で、一日限りのパネル展と、上映前の啓発トークに協力しました。

#### 松山 市民シンポジウム併行登録会 4時間で39名

9月20日、松山市民会館で市民シンポジウムと併行して、ドナー登録会を行いました。当日は暑さが残る秋晴れのよい天気、朝からの準備と運営のために十数名が集まりました。

#### 埼玉 ゆずの香りに包まれて 地域との連携を再確認

10月24、25日に埼玉県深谷市福祉健康まつりが深谷ビックタートルで開催されました。福祉関連の65団体に参加し、高齢者や障害者の方が作られた作品の展示と販売に加え、地元の方の楽器演奏や舞踊などが賑やかに披露されました。

#### 愛知 高まる意識 8年間で312人の登録

10月16日、半田常滑看護専門学校にお邪魔し、事前説明会を行いました。

#### 宮崎 太陽が熱い! はじまりは一本の電話から

始まりは、「企業として骨髄バンクを応援するにはどんなことができませんか?」という、一本の電話。その電話を受けながら、私の頭の中では、先日全国大会の広告料をいただいたばかりであり、何を伝えるべきか躊躇していました。

#### 福島の骨髄バンク推進連絡協議会

福島県骨髄バンク推進連絡協議会が、10月10日(土)に福島県立医科大学で、第1回定例会を開催しました。

#### 宮崎 太陽が熱い! はじまりは一本の電話から

始まりは、「企業として骨髄バンクを応援するにはどんなことができませんか?」という、一本の電話。その電話を受けながら、私の頭の中では、先日全国大会の広告料をいただいたばかりであり、何を伝えるべきか躊躇していました。

#### 福島の骨髄バンク推進連絡協議会

福島県骨髄バンク推進連絡協議会が、10月10日(土)に福島県立医科大学で、第1回定例会を開催しました。

# 心からのご寄付に 感謝申し上げます

9月16日～10月24日

東京21世紀ライオンズクラブ	現金	50,000円
骨髄バンクを支援する会 (いわき)	現金	400,000円
菊水酒造(株)	現金	500,000円
(株)タクトコーポレーション	現金	10,000円
エグゼキューブ(株)	現金	8,050円
春日部市立春日部中学校生徒会	現金	20,028円
塩谷 泰人	現金	2,000円
須藤 勝巳	現金	5,075円
山田 康博	現金	9,880円
中島 裕介・久子	現金	2,500円
鎗田 輝子	現金	10,000円
中熊 千春	現金	8,000円
東井 朝仁	現金	10,000円
塚越 友巳	現金	3,000円
檜尾 元春	現金	10,000円
三瓶 和義	現金	2,120円
鈴木 純子	現金	1,340円
福井 大	現金	3,000円
飯島 孝枝	現金	2,240円
折橋 尚道	現金	10,000円
グリーンリボンランニングフェスティバル	募金	11,600円
箱	現金	1,026円
匿名	現金	5,000円
匿名	現金	5,000円
匿名	現金	11,600円
匿名	現金	5,000円
匿名	現金	20,000円
匿名	現金	5,000円
匿名	現金	100,000円
匿名	現金	2,960円
匿名	現金	20,000円

●白血病患者支援基金	現金	20,000円
骨髄バンクを支援する会 (いわき)	現金	400,000円
株北越ケーズ	現金	112,542円
会津テニス協会・ゼビオ(株)	現金	5,000円
丸善商事(株)	現金	5,000円
キク薬局	現金	5,000円
鎌倉屋	現金	3,435円
山形信用金庫 中央支店	現金	1,014円
曾根建設(株)	現金	10,524円
パレスロード	現金	14,171円
ファミリーショップ ヒロタ	現金	1,850円
電化	現金	1,850円
めん処英喜家 本店	現金	3,389円
三島店	現金	2,045円
つけ麺処くっちゃいな	現金	6,094円
御殿場店	現金	1,692円
環七通り店	現金	3,081円
小田原店	現金	2,438円
沼津店	現金	9,495円
原宿店	現金	7,203円
沼津応援酒場	現金	1,681円
創作ダイニング火と水と大地	現金	5,761円
御殿場店	現金	3,434円
(南)ヴァンティアン・コーポレーション	現金	6,919円
(株)洋伸	現金	5,326円
磯屋食堂	現金	5,000円
グリーン薬局	現金	2,425円
コットンティル	現金	1,240円
末広薬品	現金	3,000円
レストラン沢羅木	現金	6,000円
小樽ロータリークラブ	現金	1,348円
田方薬剤師会	現金	100,000円
さかえ薬局	現金	3,000円
(株)エスタジオ横浜	現金	11,921円
青葉台クリニック	現金	8,912円
山形信用金庫	現金	1,233円
(株)丸広百貨店	現金	5,000円
山本 智子 (ひこばえ)	現金	2,000円
堤 清子	現金	1,500円
森下 美紀子	現金	25,000円
安東 慎次	現金	20,050円
●佐藤きち子患者支援基金	現金	(敬称略)
垂沙美の日	現金	
宮城骨髄バンク登録推進協議会	現金	

**活動資金の援助をお願いします**  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

2009年度賛助会員 (9月16日～10月24日)	
ヤマト徴章株式会社	10,000円
山下 泰裕	10,000円
中熊 千春	2,000円
土肥 博雄	2,000円
藤原 直樹	2,000円
今均	2,000円
匿名	50,000円
匿名	6,000円

■平成22年度移植対策関係予算概算要求の概要 (臓器移植対策室)		
	H21.10.15	
	概算要求額	前年度予算額
造血幹細胞移植対策	1,840百万円	1,763百万円
I. 骨髄移植対策	1,194百万円	1,137百万円
<概要>		
(1)骨髄移植対策事業費 (骨髄移植推進財団)	480,402千円	440,719千円
・あつせん業務関係事業費	341,814千円	345,288千円
・あつせん事業体制整備費	51,126千円	8,617千円
【新】非血縁者間末梢血幹細胞移植の導入に係るシステム構築費	42,000千円	0千円
【改】骨髄提供登録者フォローアップ事業	9,126千円	4,788千円
・普及啓発事業	87,462千円	82,910千円
【改】骨髄バンクドナー募集広告経費	10,500千円	5,250千円
・運営管理費等経費	0千円	3,904千円
(2)骨髄データバンク登録費 (日本赤十字社)	713,858千円	696,576千円
【改】HLA (A座、B座、C座、DR座) 検査費	483,000千円	462,788千円
(3)医療提供体制施設整備交付金 (医政局指導課計上) (特殊病室施設)		
II. さい帯血移植対策	646百万円	625百万円
<概要>		
(1)さい帯血移植対策事業費 (日本赤十字社)	645,768千円	625,221千円
・さい帯血保存管理業務費	616,093千円	586,848千円
【改】さい帯血の採取及び検査に係る経費	599,561千円	568,865千円
・さい帯血情報管理経費	27,995千円	35,335千円
・日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	1,680千円	3,038千円
(2)保健衛生施設等設備整備費 (健康局総務課計上) (さい帯血バンク設備)		

前号でお知らせした造血幹細胞移植関連の来年度予算概算要求ですが、いったん白紙に戻されたあと、10月15日に再提出されました。移植対策関係全体で見ると、総額については、9月の当初案からの大幅な変更はなかったとの印象を受けます。

造血幹細胞移植対策では当初案比で1・6%減、2千9百万円の減額要求となりましたが、対前年度予算比では4・4%増、7千7百万円の増額要求です。

骨髄移植対策関係では当初案比で1・7%減、2千万円の減額ですが、対前年比では5%増、財団分については、あつせん

5千7百万円の増額要求となっています。

さい帯血移植対策関係は当初案比で1・4%減、9百万円の減額で、対前年比では3・4%増、2千百万円の増額要求です。参考までに、臓器移植対策についてみると、当初案比で0・3%の減ですが、対前年比では約78%増、4億1千8百万円もの増額要求が出されています。これは、臓器移植法の改正に伴う大幅増と言えるでしょう。

骨髄移植関連については、当初案との相違点は次の通りです。財団分については、あつせん

## 日赤・骨髄データセンター 担当者研修会で講演

10月5日、日本赤十字社辰巳ビルで開催された全国の骨髄データセンター登録情報担当者研修会において、「骨髄バンクの現状/ボランティア活動の状況」という内容での講演の時間をいただきました。

本研修会には2年前よりお声をかけていただき、今回で3回目になります。今年、岩手県骨髄バンク推進協議会の運営委員であり、全国協議会の事務局員でもある橋本正成が講師を務めさせていただきました。

岩手県内での骨髄バンクをとりまく現状から話を始め、全国協議会が2007年にまとめた「造血幹細胞移植将来像検討会議」の報告書に沿った形で、今後の

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする 骨髄バンクNOW

《マンスリー JMDP (10月15日発行) より抜粋》

●患者さんのHLA確認検査への[C座]追加について  
7月号でお知らせしましたように、HLA-C座の移植成績に与える影響が明らかになり、8月から新規にドナー登録される方々に対して、従来のHLA-A、B、DR座に加えてHLA-C座検査が導入されました。

そして今からは、患者さんの確認検査においても従来の3座にHLA-C座検査を追加(必須化)することになりました。これに伴い患者負担金が10,500円(HLA-C座検査分)値上げされますが、ドナー確認検査の一般血液検査を2,700円値下げし、全体として患者さんの負担はこれまでと同等になるようにしました。

※患者さんが移植に至るには平均して4名のドナー候補者の確認検査を実施：▲2,700円×4=▲10,800円

今後は、患者さんとドナーの方のHLA-C座の適合状況が今までよりも早い段階でわかるようになるので、コーディネイト期間の短縮とHLA-C座を適合させることによる移植成績の向上が見込まれます。

●平成22年度国庫補助金について  
皆さまもTVや新聞等の報道でお聞き及びかと思いますが、来年度の予算編成に関して、いわゆる天下り法人については国庫補助金を平成21年度対比で2割削減するという、長妻厚生労働大臣の指示があったところです。2割の削減が実施された場合、収入に占める国庫補助金の割合が約3割を占める当財団の運営にとって大きな影響があります。来年度の実施を目指している末梢血幹細胞移植事業やコーディネーターの処遇改善等も実施が難しくなります。財団としては、この事態を回避し来年度必要な事業が実施できるよう、来年度における天下り法人からの脱却等、最大限努めていきます。

※天下り法人とは「国家公務員OBの理事が在籍する法人」で、当財団等が該当するとのことです。(常務理事：平井全)

●「中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンベン 中部」  
・主催：春日井ライオンズクラブ  
・開催日：11月12日(木)・場所：花の木ゴルフクラブ  
※女子プロゴルファーも参加され、パーティーではチャリティーオークションが行われる予定です

◆日本骨髄バンクの現状(平成20年9月末現在)				
	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,941	3,198	346,218	441,550
患者登録者数	203	231	2,708	28,580
骨髄移植例数	91	95	-	10,945
20歳未満ドナー登録者	-	110	10,535 <sup>1)</sup>	-
51歳以上ドナー	212 <sup>2)</sup>	110 <sup>3)</sup>	16,064 <sup>4)</sup>	-

●9月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム / 1,139人、献血併行型集団登録会 / 1,900人、集団登録会 / 83人、その他 / 76人

●骨髄バンクを介して2回提供された方 (累計数) 531人

●DLI (ドナーリンパ球輸注) 療法の実施件数 (累計数) 325件

●国際協力の現状 (2009年7月～9月)  
<海外ドナー⇒国内患者>移植数2件：NMDP1、KMDP1 累計移植数：159件  
<国内ドナー⇒海外患者>提供数0件：累計提供数：188件

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。  
\*1) 17年3月～ \*2) 51歳以上ドナーの延長数 \*3) 51歳以上ドナーの新規登録数  
\*4) 17年9月～

場合によっては速やかなる補正予算で対応されるよう、関係機関には強く望みたいと思います。

政権交代にともない、新規事業への予算シフトのため、政府財務省筋から従来事業の見直し、予算の大幅なカットが求められていた中で、全体としては切り詰め幅を最小限に抑えた概算要求と見ることが出来ます。臓器移植対策室が、対前年比では増額要求を堅持したのは、移植医療が決して不要不急なものではないことへの確固たる意志の表れかと思えます。しかし決して安心はできません。今後の査定場合同様については復活折衝の推移を見守りたいと思います。

くられました。

その具体的な行動を、全国協議会が皆さんに、そして社会に提示する時が来ていると強く感じました。

その講演会でした。

## 骨髄バンク意識調査アンケート実施協力をお願い

全国協議会では宮城大学(仙台市)と共同して、10月初めより「骨髄バンク意識調査アンケート」を実施しています。

同種のアンケート調査は、骨髄バンクを支援する愛知の会(当時)による1998年の実施以降、行われておりません。前回の調査より10年余りの歳月が経ち、骨髄バンクを取巻く環境の移り変わりとともに、社会的な意識も変化していると考えられます。

そこで、この様な変化を把握するために、意識調査アンケートを実施することとなりました。同アンケートの結果は、私たちの今後の活動に反映させながら、

骨髄バンクの普及啓発及びドナー登録者のリテンション向上などに役立ててまいります。

現在、加盟団体の協力のもと各地でアンケートを実施中ですが、締め切りが当初の10月末から11月末まで延長となりましたので、各種イベントや例会等でアンケート実施にご協力いただけるライオンズクラブ、青年会議所、企業、団体等がございましたら、全国協議会事務局までご連絡ください。



## 今年 は 作りました！ 2010年版「ハローキティ・シールカレンダー」

皆様にご好評を得ておりました「ハローキティ・シールカレンダー」ですが、昨年は諸般の事情で作成を見送りましたところ、「なんで作らなかったの?」「毎年楽しみにしていたのに!」との声が多数寄せられましたので、今年は早々に作成いたしました。

2年ぶりの登場ですが、一段と可愛らしく出来ました。台紙裏面にはいつものように骨髄バンクのPRが書かれています。各地で開かれますイベントの啓発グッズとして、また友人・知人、職場の皆さまに紹介し、骨髄バンクを知って頂くツールとして、ご活用ください。

【問い合わせ】  
地元の骨髄バンク支援団体・または  
「特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会」へ  
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21 9階  
TEL 03-3356-8217  
FAX 03-3356-8637  
e-mail: office@marrow.or.jp

※カレンダーと一緒に振込用紙を送ります。(料金後払い) 在庫無くなり次第終了。ご注文はお早め!

